

第6回 「日本語大賞」

テーマ

^{いま} ^{つた} ^{ことば}
「今、伝えたい言葉」



小学生の部 優秀賞 受賞作品

おかえりなさい

神奈川県

湘南ゼミナール鴨居教室

小学5年 高井 ひかり

おかえりなさい

神奈川県 湘南ゼミナール鴨居教室 小学五年 高井 ひかり（たかい・ひかり）

私のお母さんは学校の先生です。朝早くから、夜おそくまで家にいません。私はいつもお母さんが家にいなくて、さびしいです。友達のお母さんは、家にいて、学校から帰ると「おかえりなさい。今日も楽しかった？」と笑顔で言ってくれるそうです。私も毎日お母さんの「おかえりなさい」が聞きたい、なぜ私のお母さんは、働いているのか、と思いつらい気持ちでいました。

ある日、私は学校の遊具から落ちて、手首を骨折してしまいました。痛くて痛くてお母さん、早く来てと心でさげんでいました。担任の先生と病院に行く途中、先生が、何度も「大丈夫？」と聞いてくれました。が、私の心はお母さんに会いたい気持ちで、涙がとまりませんでした。病院に着くと、お父さんとお母さんが先に病院で待っていてくれました。私を見ると、お父さんもお母さんも心配そうな顔で「ひかり」と私の名前をよんでくれました。手は痛かったけど、私の心は、うれしくて、ホットして、痛みも半分になりました。私のことをこんなにも大切に思ってくれているんだと、わかりました。仕事もお休みして、病院にかけてきてくれました。病院からの帰り道、私は、お母さんに、「めいわくかけて、ごめんなさい。」と言ったら「お父さんとお母さんは、ひかりが大好きだからひかりに何かあった時は、いつでもとんでくるよ。」と言ってくれました。

私は働くお母さんが好きではありません。でも私のために毎日働いてくれて、いつも支えてくれるお母さんに手紙をかきました。手紙にはこう書きました。

お母さんいつもありがとう。ひかりはいつもお母さんのことおうえんしているよ。大好きだよこれからもがんばってね。ひかりより

私のお母さんはいつも私のそばにはいません。でも心はいつもそばにいて、おうえんされているので、もう私はつらい気持ちにはなりません。こんどは仕事からつかれてかえってきたお母さんに、笑顔で「おかえりなさい」を言いたいです。